

外国人のための日本語教室

日本語を学びたい方、ぜひご参加ください！

◎4月7日～6月30日

毎週 木曜日：午後6時30分～8時

◎4月10日～6月26日

毎週 日曜日：午後6時～7時30分

場所：南丹市国際交流会館2階 費用：無料

各イベント・教室のお申し込みや

お問い合わせ、くらしの相談などは、
協会事務局までお気軽にどうぞ！

(火)～(金) 12:30～16:30

TEL0771-63-1840



～ボランティア募集～

- 通訳・翻訳
- 日本語支援
- イベント
- 他にもいろいろあります！

☆あなたも会員になりませんか☆

南丹市国際交流協会では、当協会の趣旨にご賛同いただける会員を募集しています。

あなたの力、技術、好奇心、笑顔……を
活かしましょう！

	年会費
一般会員	1000円
学生会員 (高校生以上)	500円
企業・団体会員	5000円 /1口

Nantania International Association

南丹市国際交流協会

〒622-0004 京都府南丹市園部町小桜町62-1 国際交流会館2F
62-1 Kozakura-machi, Sonobe-cho, Nantan-shi, Kyoto
Phone:0771-63-1840 Fax:0771-63-1841



NO-HELLO ニュース

NO. 17 2016年4月発行

編集●南丹市国際交流協会・啓発委員会

発行●南丹市国際交流協会

Nantan International Association

〒622-0004 南丹市園部町小桜町62-1

南丹市国際交流会館2階

TEL:0771(63)1840 FAX:0771(63)1841

E-MAIL:nantania@office.zaq.jp

発行人●井尻 治

NO-HELLO ニュース

〒622-0004 京都府南丹市園部町小桜町62-1 南丹市国際交流会館2階

TEL:0771(63)1840 FAX:0771(63)1841 E-MAIL:nantania@office.zaq.jp

なんたにあん kids' カーニバル

2月7日、南丹市国際交流会館にて、「なんたにあんキッズカーニバル」を行いました。市内在住の外国人のみなさんに、それぞれの国のあそびや文化を紹介していただきました。はじめに、各国のあそび体験や世界の衣装など7つのコーナー体験をした後、全体でフィリピンの「ルクソンバカ」(鷲とび)、フランスの「トマットゲーム」(ボール転がし)をしました。小学生を中心に約130名のご参加をいただき、会場は笑顔と歓声にあふれました。

多くの市民、企業のみなさまからのご支援・ご協力をいただき、ありがとうございました。



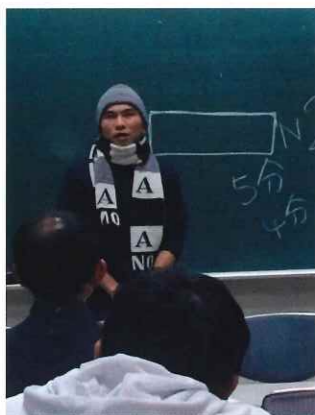
フィリピン
中国
フランス
ニュージーランド
ジャマイカ
日本



世界の衣装
世界の絵本



ざいじゅうがいこくじん かた
在住外国人の方への
 しえん おこな
さまざまな支援を行っています！



がつ 1月31日(日)
「日本語教室 学習発表会」
 がくしゅうせい みなさんが、ひごろの学習の成果を日本語を使って発表しました。みなさん、とても緊張しながらでしたが、多くの人の前で発表し、拍手をもらおうとホッとした表情になりました。



がつ 2月21日(日)
「外国人のための 防災教室」
 なんたんしやくしょ、園部消防署のご協力をいただき、災害時の対応についての説明を聞いたあと、火災時の通報や消火器の使い方の体験を行いました。みなさん、熱心に体験をされていました。

だい 2回 国際交流・多文化共生 **子ども絵画コンクール**



- 協会賞 八木西小1年 広瀬 悠一朗さん
- 優秀賞 八木西小1年 西岡 希唯さん
- 〃 八木西小1年 水口 月之介さん
- 会長賞 知井小 1年 加地 碧希さん
- 日本語教室賞 八木西小2年 平尾 芽生さん
- 審査員特別賞 殿田小 2年 山崎 百花さん

たくさんの応募をいただき、ありがとうございました。

News一おしらせ

2015. 11. 20

こまざいじゅう ジェイミー ドワイヤー
 胡麻在住のJamie Dwyerさんが、胡麻郷小学校5年生の外国語活動の授業で、日本のあそびの発表や自己紹介を通して交流を深めました。子どもたちにとって、「先生」ではない外国人とのふれあいは新鮮な様子で、Jamieさんの出身国であるアメリカ合衆国についての質問がたくさん出されていました。



2016. 1. 31

どうししゃじょだいぐく 藤原孝章さんを講師にお迎えし、「多文化共生ワークショップ～ひょうたん島問題から多文化共生を考える～」を行いました。架空の島である「ひょうたん島」に移住してきた人々を想定したロールプレイで、言葉や文化の違いやお祭りへの参加など、参加者の皆さんからの「これ、あるある」との声が上がる地域に身近にある具体的な事例について考えました。講師の藤原先生が最後に話された「多文化共生を考える時に、外国人のことでだけでなく、『外国人、障がいのある方、高齢者、妊娠中の女性、子どもと共に生きる、くらすまち』として考えるとよいのでは？」という提案が印象に残りました。



2016. 3. 20

やぎちようざいじゅう 井上由美さん、大西継娜さんに講師をお願いし、「チャレンジ！本格・中国料理」を行いました。当日は、中国語が活発に飛び交う中で、4つのグループに分かれて餃子を作りました。皮から作るのは初めてだという方も多く、コツやポイントを丁寧に教えていただきました。一つ一つ具を包んだ後に茹で上げた餃子は、モチモチ・ツルツルで参加された方からは、「おいしい!」「普段食べている餃子と全然ちがう。本物を知られてよかった。」という感想が出されていました。



なんたんしこくさいこうりゅうきょうかい たぶんかきょうせい きーわーど
南丹市国際交流協会では、「多文化共生」をキーワードに、

せかい ひら じぎょう おこな
世界に開かれた「ひと」と「まち」づくりをめざし、さまざまな事業を行っています。

しみん さんかく ま
市民のみなさまの参画をお待ちしております。